

2023 年度重点事業計画

重点事業 1. 今後の看護学教育のありかたを構想し、具体的な発展の道筋を構築する

2023 年度のとりくみ

- 1) 会員校における教育の DX 化の促進に資するよう、会員校間の情報共有と協働の方法を検討する
- 2) 実習前 CBT/OSCE システムの日本看護系大学協議会版（仮称）の開発を進める
- 3) 感染症に強い看護人材育成にむけた看護学教育プログラムの開発を進める
- 4) 保健師助産師看護師国家試験の ICT 化にむけて情報収集する

重点事業 2. 高度実践看護のありかたを構想し、具体的な発展の道筋を構築する

2023 年度のとりくみ

- 1) 他機関と協働して APN グランドデザインを策定し、CNS、NP など APN 教育制度改革に着手する
- 2) 他機関との協働のもとでナースプラクティショナー（仮称）の資格制度化が実現するよう積極的に活動する

重点事業 3. 効果的な協議会活動を実現する組織運営および関連団体との協働を行う

2023 年度のとりくみ

- 1) 日本看護協会、日本私立看護系大学協会と協働するとともに、文部科学省や厚生労働省等に要望書を提出する
- 2) 定款・規程等を確認し、より効率的・効果的で公平性・透明性の高い組織運営に資するよう適宜改訂する
- 3) 災害時の JANPU ネットワークの体制と機能を発展させる

重点事業 1. 2) について、これまで看護学教育質向上委員会の CBT ワーキングが実施してきましたが、看護実践能力評価基準検討のための調査研究を行う段階となり、ワーキンググループを発展的に解消し、臨時委員会として「看護実践能力評価基準検討委員会」を立ち上げ、新たに専門家を委員として任命し、主に調査を担当いたします。

重点事業 2. について、日本看護協会、日本 NP 教育大学院協議会及び本協議会の三団体が、それぞれの理事会承認のもと、これまで共同して NP の国家資格化を要望してきました。現在、NP としてのコンピテンシーを明示し、現行法規では対応できない業務の検討を進めています。また、CNS については、登録者数の減少が指摘され、対処が求められています。これらの課題の解決に向けて APN グランドデザインを策定し改革に着手いたします。